

# こだま新聞

第212号  
平成25年6月

## 義歯

八郎潟町も高齢化が進んでいるせいか、義歯を使っている人が増えてきました。一日に来られる患者さんの3割くらいは義歯の治療です。

義歯は慣れるまでが大変ですが違和感なく話したり

食事ができるようになります。そんな具合の悪いものはありません。確かに歯があつたときに比べれば噛む力が弱くなったり、食事の後の手入れが大変だったりすることがありますが、はずして清掃ができる分、ブリッジよりも管理しやすいと思います。

ただ、高齢者の場合は様々な病気を持っていて多種類の薬を服用していることが多く、中には薬の副作用で口が乾燥しやすくなってい

て、そのために義歯が外れやすくなっていることがあります。義歯は義歯床(ぎししよう)と呼ばれる顎(あご)の部分(ピンク色の部分)と顎の粘膜の間に唾液があつて付着しているのです、口が

渴くとどうしても外れやすくなります。これを防ぐために人工唾液と呼ばれる薬も販売されています。でも、まったく無味無臭とは行かないため、使えない人もいます。長時間話しなければならぬ人や、口が渴きやすい人は時々水を口に含むようにすると落ち着きやすくなります。また、薬のために口が渴きやすくなってい



る場合は処方されている主治医の先生に事情を説明して薬を変えてもらおうと改善することがあります。ただし、患者さんの治療に最適な薬を処方されていないような薬がないことあります。この場合は義歯の取り扱いを工夫することになります。義歯を使っている一番違和感を感じるのは義歯を入れるときです。このときは義歯を一度水で濡らしてから装着すると少し楽です。食事をするときには味がわかにくくなります。味を濃くすると塩分を取りすぎますから、果汁などの酸味のあるもの、カレーなどの香辛料を味付けに使うと少し食欲を増すようです。また、温度も感じにくくなつて火傷しやすくなります。一度に多量に飲んだり食べたりすると喉を火傷しやすくなりますから、熱いものは少しずつ飲むように特に注意してください。

## 八郎潟寄席

2年前から秋田を拠点にして「秋田住みます芸人」として活躍し、「秋田お笑い大使」としても活躍中の桂三若さんが3年目の今年も秋田県を応援することにになりました。今年3年目の記念に秋田県の市町村全部で寄席を開催することになりました。八郎潟町は年に二度寄席を行っていますが今年6月16日に最初の寄席を防災センターで開催します。チケットは当院でも販売中です。

## 今月の行事

- |               |
|---------------|
| 6月            |
| 1日 ミュージカル役員会  |
| 2日 ウォーク大会     |
| 4日 歴史の会総会     |
| 5日 ミュージカル顔合わせ |
| 6日 幼稚園歯科健診    |
| 6日 郡市学校保健会    |
| 6日 日本語教室開始    |
| 7日 2歳児歯科健診    |
| 8日 クライン定例会    |
| 14日 秋田信金講演会   |
| 14日 町CM会議     |
| 16日 八郎潟寄席     |
| 29日 町CM撮影日    |
| 30日 町CM撮影予備日  |

**桂三若の秋田情熱ひとり会 25市町村ツアー**

爆笑落語ワールドへようこそ

「秋田お笑い大使」桂三若 初の秋田全市町村を巡るツアーを開催!!

平成25年6月16日(日) 14:00開演 (13:30開場)

【会場】八郎潟町「防災センター」2F

入場料(全席自由) 前売り1,200円(当日1,500円)

【主催】異業種交流会 クライン

【お問い合わせ】クライン事務局 北島 TEL 090-8927-3819